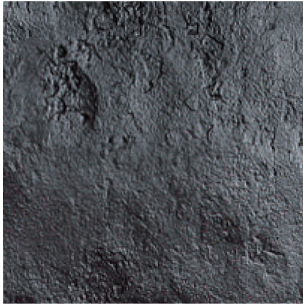


素材の特長とお手入れ方法

下記素材により特性が異なりますので、素材の特長を十分にご理解の上、ご使用ください。
お手入れは定期的に行ってください。定期的なお手入れにより、長く美感を保つことができます。

鉄



- 鉄は重厚で存在感のある素材です。
- 湿気などで酸化しやすく、錆は避けられませんのでご了承ください。(地域や環境によって進行が異なります。)

お手入れについて

- 埃を払ってから、乾いたやわらかい布(ウエス)で軽く拭いてください。
- 錆が出た場合は、サンドペーパーなどで軽く錆を落とした後、補修用塗料(タッチアップペイント、缶スプレー)などで補修をしてください。

ステンレス




- ステンレスとは鉄にクロム(Cr)とニッケル(Ni)を混ぜ、錆にくくした鉄の一種(合金)で、非常に安定性の高い材料です。
- 長期間お掃除しないままにしておくと、ステンレス表面に付着した埃・煤・塵・鉄粉が酸化皮膜の再生を妨害し、錆の原因となります。

お手入れについて

- 埃を払ってから、乾いたやわらかい布(ウエス)で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。

真鍮

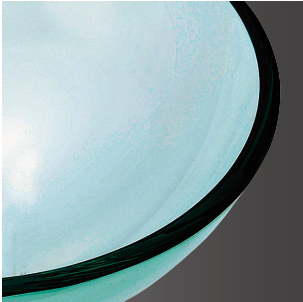


- 美しく光る金色の素材です。黄銅(おうどう)とも呼ばれ、銅と亜鉛を主とした合金です。
- 無垢材の真鍮は空気に触れることで表面が黒っぽく変色する特長があり、経年変化をお楽しみいただけます。
- 経年変化による変色は避けられませんが、プラス色 約1-2ヶ月後、プラス色 約2年後、ブロンズ色 約2年後

お手入れについて

- 埃を払ってから、乾いたやわらかい布(ウエス)で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。

ガラス



- 透明度が高く、耐候性には優れていますが、衝撃と温度変化に弱い素材です。

お手入れについて

- 埃を払ってから、乾いたやわらかい布(ウエス)で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。

陶磁器



- 衝撃と温度変化に弱く、欠けたり破損することがあります。
- 風合いを増すために荒めの土や、鉄などを含んだ土を使用するので、ピンホールと呼ばれる小さな凹みや、所々鉄分が濃く出る場合があります。陶磁器の味わいとしてお楽しみください。
- 手作業で色付けなどを行う場合、指や筆の跡、色の濃さや柄に差が生じることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。
- 金たわし、硬いたわしは使用しないでください。

アルミ



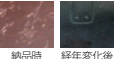
- アルミは強度・耐食性に優れ、鉄などに比べ錆にも強い素材です。
- 長期間お掃除しないままにしておくと、付着した埃・煤・塵・鉄粉が原因の「もらい錆」を受けることがあります。

お手入れについて

- 埃を払ってから、乾いたやわらかい布(ウエス)で軽く拭いてください。
- 汚れがひどく錆が出た場合は、目の細かいサンドペーパーなどで汚れや錆を落とした後、水洗いし、乾拭きしてください。

銅



- 時間の経過とともに味わいがでてくる素材です。
- 無垢材の銅は空気に触れることで表面が黒っぽく変色する特長があり、経年変化をお楽しみいただけます。
- 経年変化による変色は避けられませんが、納品時 経年変化後
- 施工時は必ず手袋等を着用してください。指紋や汚れがそのまま残る場合があります。

お手入れについて

- 埃を払ってから乾いたやわらかい布(ウエス)で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。

木



屋外用

- 時間の経過により、細かいヒビやささくれが生じたり、色褪せや退色がございます。予めご了承ください。
- 木材保護塗料を塗布し、定期的にメンテナンスをしていただければ、経年変化を緩やかにお楽しみいただけます。
- 稀に灰汁が出る場合があります。

室内用

- 自然光線や照明等から発生する紫外線により変色がございます。予めご了承ください。
- 水に濡れた場合は、すぐに乾いた布で拭き取ってください。放置しますとシミ・変色・カビ・干割れなどの原因になります。
- 室内用は、絶対に屋外で使用しないでください。

木樹脂

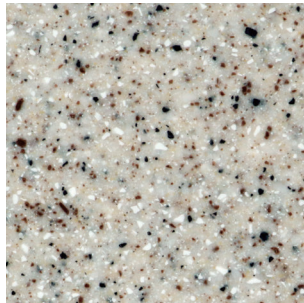


- 耐久性に優れ腐らず、木目が美しい素材です。
- 天然木で起こりがちな干割れささくれなどの心配もありません。

お手入れについて

- 水で濡らした柔らかい布やスポンジで拭き洗った後に乾拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。

人工大理石



- 人工大理石は、樹脂を硬化させて造られた人工素材で、割れにくく耐久性がある素材です。

お手入れについて

- 表面についた汚れは、必ず乾くに拭き取ってください。
- 硬水を使う場合は、水跡が発生することもあるので、柔らかい布で表面の水気を完全に除去してください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、水を含ませよくしぼった布で拭き取り、洗剤成分が残らないようにしてください。

素材の特徴とお手入れ方法

下記素材により特性が異なりますので、素材の特徴を十分にご理解の上ご使用ください。
お手入れは定期的に行ってください。定期的なお手入れにより、長く美感を保つことができます。



スチール

・スチールとは一般的に鉄に炭素を加えて合金にしたものをさします。
・防錆処理を施してありますが経年変化によって、錆が発生する場合があります。

〈お手入れ方法〉

水で濡らしたやわらかい布又はスポンジで汚れを拭き取ります。特に汚れが酷い場合は、中性洗剤をうすめた水で水洗いし水気を拭き取ってください。



ステンレス

・ステンレスとは鉄にクロムとニッケルを混ぜ、錆びにくくした鉄の一種（合金）で、非常に安定性が高いです。
・長期間お手入れをしない場合、表面に付着した埃や鉄粉が酸化皮膜の再生を妨害し、錆の原因となります。

〈お手入れ方法〉

水で濡らしたやわらかい布又は、スポンジで汚れを拭き取ります。特に汚れが酷い場合は、中性洗剤をうすめた水で水洗いし水気を拭き取ってください。



アルミ

・アルミは強度・耐食性に優れ、鉄などに比べ錆にも強い素材です。
・長期間お掃除しないままにしておくと、付着した埃や鉄粉などが原因で「もらい錆」を受けることがあります。

〈お手入れ方法〉

水で濡らしたやわらかい布又は、スポンジで汚れを拭き取ります。特に汚れが酷い場合は、中性洗剤をうすめた水で水洗いし水気を拭き取ってください。



真鍮

・美しく光る金色の素材です。真鍮（おうどう）とも呼ばれ、銅と亜鉛を主とした合金です。
・無垢材の真鍮は空気に触れることで表面が黒っぽく変色する特徴があり、経年変化をお楽しみいただけます。

〈お手入れ方法〉

重曹と水を、2：1の比率で混ぜ合わせペーストのような状態にし布や指で優しくこすり布で拭き取ってください。

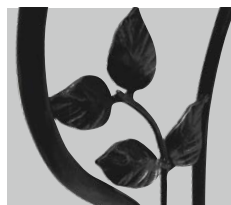


ZAM材

・ZAMとは亜鉛、アルミ、マグネシウムの3つからなる非常に優れた高耐食性をもつメッキ鋼板です。
・高い防錆性を有していますが、設置環境や切断方法によっては錆が発生する場合があります。

〈お手入れ方法〉

水で濡らしたやわらかい布又はスポンジで汚れを拭き取ります。特に汚れが酷い場合は、中性洗剤をうすめた水で水洗いし水気を拭き取ってください。



アイアン

・アイアンは重厚で存在感のある素材です。
・湿気などで酸化しやすく、錆は避けられませんのでご了承ください。（地域や環境によって進行が異なります）

〈お手入れ方法〉

日頃の掃除は、固く絞った雑巾でふき、汚れがひどければ、中性洗剤をうすめた水で汚れを落とす水洗いし水気を拭き取ってください。錆から守るために、亜鉛ワックス又は、カーワックスを布でぬってください。



樹脂

・金属や陶磁器に比べて比重が小さく、軽いです。また金属のように錆や腐食の心配がありません。
・耐熱性や強度に弱い素材です。

〈お手入れ方法〉

濡らせた布での拭き取りをおすすめします。汚れが落ちにくい場合は、ぬるま湯と少量の中性洗剤を含ませた柔らかな布で拭いてください。



銅

・経年変化によって黒ずみや緑青などが垂れる場合があります。施工時は必ず手袋を着用してください。
指紋や汚れがそのまま腐食する場合があります。

〈お手入れ方法〉

酸化被膜を落とす方法は、酢と塩を1：1で混ぜペースト状にしてぬりこすります。しっかり酸化被膜を落とした場合、銅用の研磨剤（ピカール）を布につけ、こすり落としてください。



ガラス

・透明度が高く、耐候性には優れていますが、衝撃と温度変化に弱い素材です。

〈お手入れ方法〉

ガラス製品は、傷つきやすいため指輪や腕時計を外して作業してください。中性洗剤を少量溶かしたぬるま湯でスポンジで力を入れず洗います。水で洗剤が完全に落ちるまで十分にすすぎ、乾いた布で丁寧に拭き取ってください。

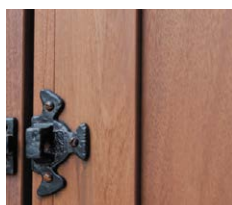


石材

・押す力に対する強度が大きく、耐久性が高いです。
・重厚感があり研磨することで光沢がある物もあります。

〈お手入れ方法〉

拭き掃除を行う場合は固く絞った清潔なモップ、雑巾等で行ってください。特に大理石はつや落ちや染みの原因になるため、水拭きは極力避けてください。表面に凹凸のある仕上げ石材への清掃は、柔らかいブラシでほこりを落としてください。



天然木

・時間の経過により、細かいヒビやささくれが生じたり、色褪せや退色がごさいます。予めご了承ください。
・木材保護塗料を塗布し、定期的メンテナンスをすることで、経年変化を緩やかに楽しんでいただけます。

〈お手入れ方法〉

普段の汚れは乾拭きしていただき、特に汚れた場合は、固く絞った雑巾で水拭きします。水分を残さないよう乾拭きしてください。



人工木

・木材に似せて人工的に作られた素材です。
・天然木に比べ扱いやすく耐久性に優れているので、腐る心配がありません。

〈お手入れ方法〉

柔らかい布やスポンジなどを使用し、中性洗剤又は水洗いで汚れを拭き取り、その後乾拭きしてください。汚れ具合によっては、たわしやデッキブラシで水洗いも可能です。長手方向にごすってください。



陶器・磁器

・素材の特性上割れやすい為お取り扱いの際はご注意ください。手作業で色付けなどを行う場合、指や筆の跡、色の濃さや柄に差が生じることがあります。

〈お手入れ方法〉

布等で汚れを拭き取ってください。頑固な汚れは傷が付かない程度に歯ブラシ等でこすり落としてください。少し水を含ませたメラミンスポンジでこすります。またうすめた中性洗剤を使い柔らかい歯ブラシで優しくこすり落としてください。

経年変化 ... 年月が経つうちに製品の品質・性能が変化すること。特に摩耗・腐食などで性能が劣化すること。また、時間の経過とともに損耗すること。

もらい錆 ... ステンレスが錆びる要因として、「もらい錆」と言われるものがあります。「もらい錆」とは、例えば鉄くずの錆が表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついていたりすることでステンレス自身が錆びたように見える現象です。